

田村市長
白石 高司



誰もが笑顔になれる 確かな未来を創り築く

安心と希望の持てる 社会を目指して

明 けましておめでとうございます。市民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げますとともに、日頃から市議会活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

昨年は、世界中で新型コロナウイルス感染症が蔓延し、本市においても、日常生活や地域活動に甚大な影響をもたらしました。

また、昨今の地方自治体を取り巻く環境は厳しさを増し、人口減少や少子高齢化対策、産業の振興、地域防災力の強化など、取り組むべき重要課題が山積しております。

コロナ感染拡大は、落ち着きを見せませんが、この難局を乗り越え、安心して暮らせる持続可能な地域社会を実現するためには、引き続き感染対策を進めながら、新しい生活様式に対応した市民生活の充実を図ることが大切であり、積極的かつ迅速な対応が求められている今、議会の果たす役割と責任も大きいものと感じております。

謹

んで新年のごあいさつを申し上げます。

令和4年が、皆さまにとって希望に満ち溢れた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げますとともに、日頃より市政伸展のためにご支援とご協力を賜っておりますことに対し、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、さまざまな制約を強いられた異例の幕開けとなりましたが、本年は、昨年一年間、市民の皆さまに感染拡大防止のための基本対策や、ワクチン接種にご協力いただいたことなどにより、穏やかな新年を迎えることができております。皆さまが当たり前に、安心・安全な暮らしを享受でき、いち早く日常を取り戻すことができるよう、感染症対策と経済対策を両輪に据え、全力で取り組んでまいります。

人口流出の抑制や定住促進を図るため、昨年、移住定住事業を促進するための拠点として東京都渋谷区内に東京リクルートセンター、市内には田村サポートセンターを開設いたしました。情報発信はもちろんのこと、移住への不安や、ストレスの軽減などのサポート体制を構築し、人口減少に少しでも歯止めをかけ、関係人口の創出、移住定住をすすめてまいります。

東日本大震災によって避難地域となった都路町地見城地区に、地元の方々の力を始め多くの方々のおかげにより、地見城ライスセン

ターが完成し、更には本市の振興作物であるサツマイモ生産における拠点施設として、サツマイモ貯蔵施設も完成いたしました。

当市の基幹産業である農業においては、風評被害や担い手の高齢化、耕作放棄地の増加といった課題を抱えておりますが、SDGsの理念に沿うよう、今後も持続可能な地域づくりに向けて、皆さまと手を携えて一つ一つの問題解決に取り組んでまいります。

また、健康増進とスポーツ・レクリエーションの振興を図り、市内外の相互交流や地域活性化を目指して整備を進めてまいりましたパークゴルフ場もようやくグラウンドオープンを迎えることができました。見晴らしの良い自然豊かなコース設計となっており、普段ゴルフという競技に馴染みのない方でも用具一式をレンタルすることで気軽に立ち寄ってプレーすることも可能な施設となっておりますので、ぜひ一度足を運んでいただければ幸いです。

一年の計は元日にあり、と申しませんが「子どもたちが笑顔で、子どもたちを見守る大人たちもまた笑顔が絶えず、高齢者が元気でいきいきと暮らすことのできるまち」の実現に向けて、目の前の課題に真摯に向き合っておりますので、皆さまのお力添えを賜りますようお願いを申し上げます、年頭のごあいさついたします。

議会は、言うまでもなく市民の意見を最大限尊重する責務を有しております。これからも市民の代表であることを強く認識するとともに、常に市民の声や地域の意見の把握に努めながら、それらを尊重したうえで、責任ある行動をとるよう心がけなければならぬと考えております。

市民の皆さまが、ここに住んで良かったと心から実感できるような田村市の実現を目指し、「市民のために審議し、市民のために決定する」という市議会の基本理念を大切にしながら、市民の皆さまの負託と期待に応えられるよう、全力を尽くしてまいりますので、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、市民の皆さまにとりまして、今年一年が健康で希望に満ちた幸せな年であることを心よりお祈りし、年頭のごあいさついたします。

田村市議会議員
大橋 幹一

